

新年のごあいさつ



菊陽町議会議長
ふくしま ちかお 知雄

菊陽町長
よしもと たかとし 孝寿



明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、清々しい新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

旧年中は、町政の運営に対しまして、深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、菊池郡津田村、原水村、上益城郡白水村の3つの村が合併し、本町の前身となる「菊陽村」が誕生してから、70周年という大きな節目の年となりました。記念式典では、先人たちが築き上げてきた歴史を振り返り、未来への決意を新たにしました。町を取り巻く環境は大きく変化していく中でも、伝統を引き継ぎながら「菊陽町」の新しいまちづくりを進めてまいります。

そして、昨年は子育て世帯の経済的負担を軽減し、未来を担う子どもたちを支援するため、町立小・中学校の学校給食費を完全に無償化しました。今後も国の経済安全保障を担う企業の立地による効果を、幅広い世代の町民の皆さんに実感していただけるよう、さら尽力してまいります。

また、にぎわいの創出と多くの町民の皆さんに喜びや楽しみを実感していただくために、昨年は、「くまもと県民の日」の菊陽町開催や、合併70周年を記念した本町では2度目となる「大相撲菊陽場所」など、さまざまなイベント

明けましておめでとうございます。町民の皆さまには、お健やかに初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、議会の活動に対しまして、ご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。議会は、子どもから大人まで、誰もが住み慣れた地域で、健康的に生きがいのある生活を送れるまちづくりが大切だと考えています。町民の皆さんからいただいた貴重なご意見を町政に反映できるよう取り組むとともに、公共の福祉の向上など関連するさまざまな重要課題の解決に向けた政策の提案を行ってまいります。

また、本町は昨年に普通交付税が交付されない「不交付団体」となりました。これは、財政的に自立性を持つ自治体となつたことと言えますが、議会としては、より厳しく、そして、新たな視点で財政をチェックしていく必要があると考えています。さらに、昨年10月に町は、JASMと第二工場の立地協定を締結し、来年12月に稼働されることとなり、本町は経済的・社会的に大きな変革期を迎えています。これから、さらなる大きな変化に速やかに対応できるよう、一つ一つの課題に真摯に誠意を持って取り組んでまいります。

昨年6月には「菊池郡・阿蘇郡町村議会議

トを開催しました。

本年は、菊陽町総合体育館の北側に、町民の皆さまの憩いの場や新たにぎわいの拠点として、西日本最大規模のアーバンスポーツツフェス」を町総合体育館で開催し、施設のオープン後はイベントなどを通じて、町民の皆さんに楽しんでいただける施設となるよう施設と多目的グラウンドのオープンも予定しております。

同時に、急速な発展の中につつても、豊かな自然環境の保全、交通渋滞対策、住民生活の安心・安全の確保など、持続可能なまちづくりをバランスよく進めることが重要だと考えております。そのため、昨年度は町の最高位の計画である総合計画を策定しました。

まちのこれからを考える上で、すべての人に対する「快適なまち」、くらしとみどりが調和する「豊かなまち」、将来に渡り「誇れるまち」の理念の基に本年も尽力してまいりますので、より一層のご支援、ご協力を願い申し上げます。

結びになりますが、本年が町民の皆さんにとって良い年になりますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

長会」を発足させました。劇的に変化するこの地域の発展につなげることを目標に、共通課題の共有、連携強化のため、全議員研修会などを実施してまいります。

昨年10月からは、菊陽町PTA連絡協議会、菊陽町子ども会育成連絡協議会など、各種団体との意見交換会を開催しています。各団体からそれぞれの課題に対してのご意見を丁寧に伺い、町政に反映できるよう取り組んでまいります。

また、昨年度から引き続き「議会と親子とが語る会」を実施しています。小学校の児童や中学校の生徒とその保護者の皆さんに、町政に関心を持ってもらうため、議員と車座になり、菊陽町の未来について率直に語り合う場を設けています。昨年8月は豪雨により残念ながら中止といたしましたが、引き続き取り組んでまいります。

本年も、町民の皆さんに寄り添い、全議員が力を合わせて取り組んでまいりますので、町民の皆さんのご支援とご協力を願い申し上げます。

結びになりますが、町民の皆さんにとつて本年が素晴らしい年となりますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。